

科目名	福祉コミュニティ論	
担当者	河原 晶子 / KAWAHARA, Akiko	
科目情報	心理臨床<福祉臨床> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	無前提に「良いこと」とされている「福祉ボランティア」活動を様々な角度から科学する。ボランティアやNPOの活動に見られる政府・市場・市民の分担・協同と拮抗、現代社会における市民による福祉提供の位置づけ、「援助」の行為を考察する。
	到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会における福祉ボランティアの存在意味を理解できる。</li> <li>・「援助－被援助」関係の社会的特性と普遍性を理解できる。</li> <li>・NPOとNPO法人制度について基本的で正確な知識を獲得する。</li> <li>・日常生活の中に福祉ニーズをキャッチする感覚を理解できる。</li> </ul>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 科目オリエンテーション/「福祉」の3つの源流について</li> <li>(2) 社会における「福祉」提供の仕組みから見たボランティア</li> <li>(3) 市民福祉活動登場の歴史から見たボランティア</li> <li>(4) 量的・質の実態から見たボランティア</li> <li>(5) 社会構造の反映としてのボランティア</li> <li>(6) 行為論から見たボランティア</li> <li>(7) 人はなぜボランティアをするのか</li> <li>(8) 援助論から見たボランティア－パターナリズムと「自立」賞賛の狭間で</li> <li>(9) 福祉ボランティア活動の多様性</li> <li>(10) ノーマライゼーションから見たボランティア</li> <li>(11) ボランティア活動の組織化とNPO法人制度の活用</li> <li>(12) NPO法人活動の課題とボランティア</li> <li>(13) 学校でのボランティア学習を科学する</li> <li>(14) ワークショップ－オリジナルなボランティア学習を組み立てる</li> <li>(15) 総まとめ</li> </ol>	
自学自習	事前学習	新聞・TVでのボランティアやNPOのニュースに目を通しておくこと。
	事後学習	毎回、授業冒頭に前回授業の復習小クイズを行うので、よく復習しておくこと。
使用教材・参考文献	<p>【教】 使用しない。</p> <p>【参】 山岡義典編『NPO実践講座2－人を活かす組織とは』ぎょうせい2002年 三本松政之・朝倉美江編『福祉ボランティア論』有斐閣、2007年 岡本榮一他編『学生のためのボランティア論』大阪ボランティア協会、2006年</p>	
成績評価方法と基準	<p>&lt;方法&gt; 単位レポート75% / ①新聞記事切抜課題10% / ②アクションペーパー課題15%</p> <p>&lt;基準&gt; レポートの内容・水準が到達目標に到達しているかどうかを重視する。</p>	
備考	<p>①毎回、ボランティアやNPO関連の新聞記事コピーにコメントを記して提出すること。</p> <p>②自身のボランティア活動やボランティア・イベント等への参加のアクション・レポートを提出すること。その他、授業の進行に応じて作業課題を提示する。</p>	